

茨城の食王座決定戦

優勝

主食部門 「幻の飯村和牛・焼肉ブラック」

スイーツ部門 「まるごとはんじゅくちーずろーる」

【茨城・南部】日本青年会議所関東地区茨城ブロック協議会は28、29の両日、つくば市役所駐車場で「茨城の食 王座決定戦」を開いた。28日は主食部門34店、29日はスイーツ部門34店が出店。王座に主食部門はヨシムラミート（つくば市）の「幻の飯村和牛・焼肉ブラック」とスイーツ部門はコート・ダジュール（同市）の「まるごとはんじゅくちーずろーる」が輝いた。

東日本大震災の影響が 魅力を県内外にPRする 残る中で、安全・安心、とともに、新たな名物発掘が目的。つくば青年会議所が主管し、同市が共催。県と茨城を食へよう

運動推進協議会が後援した。県内各地の名物がつくばに集結した。「やまかの男井」「八千代の白菜メンチカツ丼」「烏手羽かくれんぼ」「黄門パフェ」"いばLOVEりん"など飲食店や菓子店、農業生産法人、市民

団体などが自慢の料理やスイーツを出品。つくば市の関農産は「筑波の里おしるこ」、龍ヶ崎市の横田農場は「おこめてんしロール」を出した。2日間で約9万人以上が訪れ、来場者の試食・投票でランキングを決定。主食部門の準優勝に「とろろりチーズのイタリアン風スティックギョーザ」（坂東市）、第3位に「コラーゲンたっぷり塩ホルモンうどん」（大洗町）、スイーツ部門の準優勝につくばブルーベリー生産者連絡協議会

「ス」、第3位にお茶の根本園（坂東市）の「濃茶（こいちゃ）アイス」が選ばれた。両部門の王座につくば市長賞が贈られた。

入賞作品は全国各地の青年会議所のイベントでPRする他、県の「うまいもんどころ」にも推薦する考えだ。



名物料理を求めて多くの人でにぎわった「茨城の食王座決定戦」

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

発行所 日本農業新聞 東京都台東区秋葉原2番3号

©日本農業新聞2013

2013年（平成25年）

4 30

火曜日